

解体中の大型商業施設を利用した消防活動訓練

三郷市消防本部

三郷市消防本部では、7月14日と15日の2日間、解体中の大型商業施設（3階建て鉄筋コンクリート造）で消防活動訓練を実施しました。

本訓練は、現場経験が少ない隊員の教育を主眼とし、カラオケボックス内で火災が発生したと想定し、検索救助要領やドア開放技術の習得を目的として実施したものです。

訓練では、教本からでは学べないことを、自ら体験することで要領や技術を理解し、現場での災害対応能力の向上につなげることができました。今後も訓練を重ね消防力の強化に努めてまいります。



火災原因調査に関する研修を実施

松戸市消防局

松戸市消防局は、毎日勤務及び隔日勤務の調査員に対する、火災原因調査研修を実施しました。毎日勤務の調査員には書類作成、損害調査、情報公開等の座学、鑑識鑑定要領、電気火災実験、車両火災等の実技及び模擬家屋を作成し、建物火災現場を再現した現場見分要領を合計5日間実施し、隔日勤務の調査員には模擬家屋の調査要領を合計4日間実施しました。参加した調査員からは今後の指導及び基本的な調査要領が学べたため、今後の調査に役立てたいとの声がありました。



消防通信 望楼 ぼうろう

水難救助訓練を実施

海老名市消防本部

令和3年4月26日、27日に相模川河川敷・相模大堰上流において水難救助訓練を実施しました。この訓練は、水難救助事案の災害対応に必要な知識及び技術の向上を目的として実施しました。

実際に管轄する河川を使用して、水難救助訓練を計画、潜水隊員の意思統一及び救命ボートの操船技術の向上を目的として訓練を実施し、大変有意義な訓練になりました。



『震災警防本部立上げ訓練』を実施しました

豊中市消防局

豊中市消防局では、令和3年6月25日(金曜)に震災警防本部立上げ訓練を実施しました。

震度5弱以上の地震が発生した際、消防局に震災警防本部を立ち上げ、市内被害状況の情報収集、大局的な災害対応方針の決定、本市消防力での対応可否判断、緊急消防援助隊などの受援体制構築、活動隊の後方支援体制など、多岐にわたる任務があります。

大規模な災害が発生した際には、迅速に警防本部を立上げ、円滑な活動が行えるように今後も継続して訓練を実施し、対応力の更なる強化を図ります。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】